



「近年にない好成績」有島ポンド採卵会

ニセコ町有島記念公園内の親魚畜養池「有島ポンド」で5月6日と11日、イトウの人工採卵を試みました。網を引いて41尾（雌13尾、雄28尾）を取りあげ、両日に計3尾の雌イトウからの採卵に成功しました。うち1尾の卵は過熟のため廃棄しましたが、残る2尾の卵に雄3尾の精子をかけて人工授精させ、計6780粒の授精卵を得ました。

新型コロナウイルス感染症抑制のための緊急事態宣言下で、あらかじめ「一般の見学は控えてください」と告知し、会員もマスク着用などの対策のうえ作業に当たりました。

授精卵は道総研さけます・内水面水産試験場（恵庭市）で飼育されています。孵化する稚魚は今秋、尻別川水系の再導入河川に放流する予定です。

人工授精の成績（6月4日現在） 検卵とコメント：川村洋司

5月6日採卵分

発眼卵数 690 粒 (0.179g*) / 授精卵数 2580 粒 (0.205g) = 発眼率 26.7%

死卵は少なかったのですが、不授精卵と思われる透明卵が多く、発眼率は低くなってしまいました。卵に問題があったのか精子に問題があったのかは不明ですが、昨年のように発生異常を呈して死卵になったわけではありません。

5月11日採卵分

発眼卵数 3490 粒 (0.178g) / 預託卵数 4200 粒 (0.185g) = 発眼率 83.1%

死卵は極めて少なく、透明の不授精卵は少なかった。発眼率は高く、近年にない成績であり、採卵がうまくいけばポンドでの飼育そのものには問題がないことが明らかになりました。



有島ポンドでの採卵作業の様子は、
YouTubeでご覧いただけます。
<https://youtu.be/l6JmokS-cJY>

* カッコ内は一粒平均卵重。

再導入第二世代の遡上確認

倶登山川2020年モニタリング結果報告

山根敏夫 オビラメの会副会長

月日	場所	目視確認したイトウ	備考
4/25	支流A	♂60(?), ♀65(左腹・アブラ)	
4/26	本流	♂85(右腹・アブラ)	
4/28	支流A	♂95(アブラ), ♂85(アブラ), ♀80(右腹・アブラ)	
4/30	本流	♂85(?), ♂75(?), ♂75(?), ♂75(右腹・アブラ)	
	支流A	♀70(アブラ)	
5/1	本流	♂85(?), ♀70(?)	このペアの産卵を確認
5/2	支流A	♂85(?)	
5/3	支流B	雌雄不明50(無標識、婚姻色なし)、雌雄不明50(無標識、婚姻色なし)	
5/4	支流C	♂75(無標識)、♂75(無標識)	
5/5	本流	♂85(右腹・アブラ), ♀75(無標識)	このペアの産卵を確認
		♂75(?), ♂75(?), ♂70(?)	
5/8	本流	♂80(右腹・アブラ), ♂80(アブラ)	

モニタリング期間 2020年4月25～5月8日

数字は推定体長、単位=cm。()内は放流魚の標識のためカットしたヒレの部位。

いずれも水上からの目視および動画撮影記録により判定。太字は再導入第2世代遡上魚。

今年^{クドサン}も倶登山川支流と本流で稚魚放流由来の標識親魚の遡上を確認し、さらに本流では無標識の「再導入第2世代野生親魚」が2年連続で遡上しているのを確認しました。

支流では、ペアおよび産卵行動は確認できませんでした。尻別川流域では例年、イトウ繁殖期まで「融雪増水」が続くのですが、記録的な少雪だった今季は、モニタリング期間の前までに増水がほぼ治っていました。前年まで多くの産卵床が確認されていたエリアでも、すでに水位がかなり低くなっていて、今年は親魚の姿も産卵床も見られませんでした。

しかし、例年とは違うエリアでメス親魚を発見し、少なくとも2カ所の産卵床を確認しました。おそらく1ペアが産卵に成功したようです。

本流では、2ペアの産卵行動を確認しました。そのうち1ペアのメス親魚は、無標識魚(再導入第2世代野生魚)

でした。このペアは、1回目の産卵を終えてカバーリング中のところを発見しました。そのままウオッチしていると、続けて2回目の産卵行動が始まりました。目の前で繰り広げられた一部始終をつぶさに観察し、産卵の瞬間をはっきり確認できました。

イトウ繁殖期のモニタリングのために、新たにドローンを導入しました。産卵行動中の親魚たちを驚かさないう、できるだけ離れた場所から



ドローンを飛ばし、上空から静かに観察・撮影できるようになります。飛行のトレーニングをおこなって、来季から本格的に運用する計画です。機材購入にあたり、2019年度シチズン賞(次ページ)の賞金を活用しました。(写真・山根敏夫)

シチズン・オブ・ザ・イヤー受賞

オピラメの会はこのたび「2019年度シチズン・オブ・ザ・イヤー（シチズン賞）」を受賞しました。シチズン時計株式会社が主催し、「日本人および日本に在住する外国人の中から、市民社会に感動を与えた、あるいは市民社会の発展や幸せ・魅力作りに貢献した市民（個人もしくは団体）を1年単位で選び、顕彰する制度」（主催者サイトから）です。1月30日に東京都内で開かれた表彰式で、同社の佐藤敏彦社長から当会の川村洋司事務局長に、賞金100万円の目録と同社製高級腕時計が贈られました。



ミッション：インポッシブルへの挑戦

受賞のスピーチ 川村洋司・オピラメの会事務局長

みなさん、こんにちは。きょうは思いもよらない大変な賞をいただき、本当にありがとうございます。シチズン時計株式会社、そして選考委員のみなさまに心からお礼を申し上げます。

わたしたちの会のメンバーは、多くが釣り人です。「釣り人の話は半分に聞け」という言葉をご存知ですか？ 釣り上げた魚の自慢話をしているうちにだんだん魚が大きくなっていく、そういったホラ吹き集団なんですけれど（笑）、その釣り人たちが尻別川のイトウを守るぞと言って、2001年に「オピラメ復活30年計画」という大風呂敷を広げました。まさに「ミッション：インポッシブル（不可能指令）」の世界なんですけれど。

尻別川のイトウは、わたしたちが活動を開始した時点で、すでに自然繁殖可能な環境が失われてしまっていました。もう、人工的に稚魚を放流しないと復活させることができない、そう判断をして、稚魚放流を始めることにしたのですが、この仕事を始めるにあたって、わたしたちがこだわってきたことがふたつあります。

ひとつは、わたしたちが増やそうとしているのは、単なるイトウではなくて、「尻別川のイトウ」だということです。そのためには、尻別川で生け捕りにした野生イトウを親魚として育てて、採卵をして、「尻別川固有の遺伝子を持つイトウ稚魚」を生産しなければなりません。「放流するのは尻別川固有の遺伝子を持ったイトウに限る」というのが、わたしたちのこだわりのひとつ目です。

もうひとつは、ただ単に、放流したイトウが大きく育ててまた釣れるようになればいい、というのではなくて、放

流稚魚が、自力で子どもを残せるようにするという。われわれが手を加えなくても、自分の力で世代交代していきけるようにしよう、ということです。

このふたつのこだわりを持って、わたしたちは活動をしてきました。その結果、稚魚放流をした支流で昨年（2019年）、第2世代のイトウたち（放流魚の自然繁殖で生まれた第1世代が、また次の親になって自然繁殖し、新たに誕生した世代）の姿を初めて確認することができて、喜んでいるところです。ここまで20年かかりましたけれど、この成果をもとに、オピラメ復活30年計画の残りのあと10年で、今度は尻別川の全域にこれを広げていくことを目指しています。

わたしたちの最終ミッションは、イトウが尻別川じゅうで自力繁殖できるようにして、わたしたちの仕事はもういらぬ、イトウのほうから「もう、おれたちに手を貸してもらわなくても大丈夫だよ」と言ってもらえる状態にすることです。そうなれば、わたしたちは必要なくなります。ですから、わたしたちの最終ミッションは「解散」なんです。それに向けてあと10年、活動していこうと思っています。

尻別川のイトウ＝オピラメは、尻別川の流域の人びとにとって守護神のような存在だと、わたしは考えています。「となりのトトロ」をもじって「となりのオピラメ」みたいな（笑）。いつまでも尻別川に健在でいてくださって、みんなを守ってくださる守護神、いつまでもそんな存在でいてもらえるように、今後10年、がんばっていきたくと思っています。今日は本当にありがとうございました。（抄）（全文をオピラメの会ウェブサイトでお読みいただけます。）

オビラメ見まもり 2020

全記録

4/19	
07:12	合流点の下流20m(本流) / ♂1匹
07:20	川村IN
07:30	♂は本流の上流へ移動
07:35	♂が支流の入口へ移動
08:10	♂が支流に入る
10:00	井手IN
10:05	気温13度 / 水温6度 / 晴れ / 濁り無
10:24	合流点の下流100m(本流) / ♂1匹
11:00	♂2匹
13:00	山根IN
13:30	気温8度 / 水温8度 / 晴れ / 濁り中
14:00	菅原IN / 杭の搬入、ロープの搬入、看板の搬入、杭打ち
16:00	気温15度 / 水温6度 / 雨 / 濁り大
16:30	見学者1名 / 去年も来た / 今年も既に何回か見に来ているが未確認
17:45	気温10度 / 水温5度 / 晴れ / 濁り大 / 泊:大石
4/20	
05:20	大石IN 気温4度 / 水温3度 / 曇り / 濁り無
06:25	左岸の笹の上流3m / ♂1匹
08:00	気温6度 / 水温4度 / 曇り / 濁り無
09:00	杭打、ロープ張り、看板設置(中型6枚)川村、吉岡、井手、大石
11:00	水温5度 / 曇り / 濁り無
11:35	合流点 / ♂1匹
11:52	左岸の下流の看板 / ♂1匹
11:55	右岸の笹の下流30m / ♂1匹
12:23	下流から♂ / 1匹 → バトル → 下流へ移動
12:33	左岸の水門 / ♂1匹
12:35	右岸の水門 / ♂1匹
13:00	山根IN
14:00	♂3匹
16:00	大雨
16:15	気温6度 / 水温5度 / 雨 / 濁り無
16:30	左岸の水門の上流50m / ♂1匹
17:05	右岸の笹 / ♂1匹
17:08	右岸の笹の下流30m / ♂1匹
17:10	左岸の水門の上流10m / ♂1匹 / 泊:大石

4/21	
06:05	左岸の水門の上流30m / 右岸 / ♂1匹
07:40	川村IN
07:41	気温8度 / 水温4度 / 曇り / 濁り中
07:51	合流点 / ♂1匹 / 合流点の上流10m / ♂1匹
09:30	気温-度 / 水温4度 / 曇り / 濁り無
09:54	合流点 / ♂1匹
10:10	左岸の水門の上流 / ♂1匹
12:10	気温-度 / 水温5度 / 曇り / 濁り小
13:20	濁り大
13:50	山根IN
14:10	吉岡IN
14:30	井手IN
15:50	気温8度 / 水温5度 / 晴れ / 濁り大
15:52	俱知安町役場 / 沼田様 / 他1名 / 写真の撮影
17:30	気温-度 / 水温4度 / 晴れ / 濁り大 / 泊:大石
4/22	
06:05	左岸の水門の上流30m / 右岸 / ♂1匹
07:30	川村IN
07:40	左岸の水門の上流10m / ♂1匹
09:15	気温5度 / 水温4度 / 晴れ / 濁り
09:30	左岸にマーカ設置 / L0-L21 / 川村、大石
10:20	
10:30	井手IN
11:20	合流点 / ♂1匹
11:30	気温6度 / 水温5度 / 晴れ / 濁り無
11:40	左岸の水門の上流30m / 右岸 / ♂1匹
15:00	気温7度 / 水温5度 / 曇り / 濁り無
15:15	合流点の上流20m / ♂1匹
15:22	右岸の水門と合流点の中間 / 左岸 / ♂1匹 / L16-L17 / ♂1匹
16:00	山根IN
17:00	気温4度 / 水温4度 / 曇り / 濁り無 / L14 / ♂1匹 / L16 / ♂1匹 / L21 / ♂1匹 / 泊:大石
4/23	
06:07	L16-L17 / 右岸 / ♂1匹
07:40	気温2度 / 水温3度 / 曇り / 濁り無
08:00	川村IN



イトウ保護 釣りは控えましょう
北海道・倶知安町・倶知安町教育委員会

09:00-	オビラメハウス設置／菅原組2名
09:30	気温3度／水温3度／小雪／濁り無
09:30	合流点の向かい側の木の下／♂1匹
09:48	♂1匹が合流点に移動
10:00	L16-L17／右岸／♂1匹
11:50	気温6度／水温4度／小雪／濁り無／雪は溶けた
12:24	L16-L17／右岸／♂1匹
13:30-	大雪
15:00	
15:15	気温4度／水温3度／小雪／濁り無
17:15	気温1度／水温3度／小雪／濁り無
17:54	L16-L17／右岸／♂1匹／泊り:大石
4/24	
06:00	山根IN
06:05	L16-L17／右岸／♂1匹
07:50	気温3度／水温3度／晴れ／濁り無
08:00	川村IN
09:30	足立IN
09:40	L16-L17／♂1匹
11:00	井手IN
11:15	L16-L17／♂1匹
11:25	気温10度／水温6度／晴れ／濁り無
11:35	右岸の水門／♂1匹／♀1匹／同じ大きさ
11:39	ディギング1回
12:00	L20-L21／♂1匹／♀1匹
12:15	左岸の水門に移動
12:30	L16-L17／♂2匹／バトル
12:40	L18-L19／♂1匹／L15／♂1匹／♀1匹／(L20-L21のペア)
12:50	L12-L13／♂1匹／♀1匹は不明
12:56	L12／♂1匹／♀1匹
13:10	L11／♂2匹／バトル
13:13	L10／♀1匹／L10／♂1匹／♂1匹は不明
13:40	L10／♂1匹／♀1匹
15:00	見学者2名
15:00	気温7度／水温6度／小雪／濁り無
15:35	L10／♂2匹／L13／♀1匹

報告・大石剛司

おいしい・たけし アングラー、オビラメの会理事。
横浜市在住。2014年春から「オビラメ見まもり隊」に参加。繁殖期間中、北海道倶知安町のイトウ遡上河川のほとりでキャンピングカー生活を送りながら、尻別イトウたちを見まもっている。

16:00	L13／♀1匹
16:30	L17-L18／左岸／♂1匹／♀1匹／L10／左岸／♂2匹／泊り:大石
4/25	
05:56	右岸の水門と合流点の間／♂2匹／バトル
06:23	L17-L18／右岸／♂1匹
08:00	川村IN
08:05	気温6度／水温4度／曇り／濁り無
08:40	合流点／♂1匹／合流点に釣人／自粛をお願いして了解してくれた
08:50	右岸の水門と合流点の間／♂1匹／L16-L17／♂1匹
09:30	井手IN
10:40	気温8度／水温5度／曇り／濁り無
11:20	L10／右岸／♂1匹
11:40	ハウス前と合流点に看板を設置／菅原
13:00-	駐車場前に看板を設置／川村、大石
13:30	
13:40	気温10度／水温7度／晴れ／濁り無
13:50	合流点の上流20m／♂1匹
14:00	右岸の水門／♂1匹
16:00	山根IN／L19／♂1匹／本流／♂1匹／合流点／♂1匹
17:00	気温9度／水温6度／小雨／濁り無
17:35	L16-L17／右岸／♂1匹／泊り:大石
4/26	
05:55	右岸の水門と合流点の間／♂2匹／バトル
06:00	L20／♂1匹
06:11	L17-L18／♂1匹／♀1匹／ディギング開始
07:44	L17-L18／★産卵確認／ディギングは32回／大石
08:01	カバーリングは19回
08:10	川村IN
09:10	L17-L18／♂1匹／♀1匹
09:11	L17-L18／♂2匹／バトル5分間
09:20	水温6度／曇り／濁り無
09:20	L17-L18／♂1匹／♀1匹／ディギング開始
09:26	右岸の水門と合流点の間／♂1匹
09:43	L21／左岸／♂1匹
09:50	L20／右岸／♂1匹
09:52	L17-L18／♂1匹／♀1匹

オビラメ見まもり 2020

全記録

09:53	L18-L19 / ♂1匹
10:06	L17-L18 / ★産卵確認 / ディギングは32回 / 川村
11:41	水温5度 / 曇り / 濁り無
11:46	L18 / ♂1匹 / ♀1匹 / ディギング / L18-L19 / ♂1匹
11:49	L21 / ♂1匹
12:34	L9 / 右岸 / ♂1匹
12:38	L13 / 右岸 / ♂1匹
13:31	L17-L18 / ★産卵確認 / 川村
15:16	気温6度 / 水温6度 / 曇り / 濁り無
15:25	L20 / ♂1匹
15:20	L18 / ♂1匹
17:12	気温7度 / 水温5度 / 小雨 / 濁り無 / 泊り:大石
4/27	
06:22-	L18 / ♂1匹 / ♀1匹 / ディギングかカバーリングかは
07:20	不明
08:00	川村IN
10:50	L20 / ♂1匹
11:05	気温9度 / 水温6度 / 曇り / 濁り無
11:15	L20 / ♂1匹
12:00	合流点 / ♂2匹 / 右岸の水門 / ♂1匹 / 左岸の水門 / ♂1匹
13:20	気温10度 / 水温6度 / 曇り / 濁り無
13:29	L18 / ♂1匹
13:32	右岸の水門と合流点の間 / 左岸 / ♂1匹
13:36	合流点 / ♂1匹 / 合流点の上流10m / ♂1匹
15:12	気温7度 / 水温6度 / 曇り / 濁り無
15:25	右岸の水門と合流点の間 / 左岸 / ♂2匹
15:29	♂2匹 / バトル
15:45	L16-L17 / 右岸 / ♂1匹
17:00	気温7度 / 水温6度 / 晴れ / 濁り無
17:20	合流点 / ♂1匹
17:30	足立IN、山根IN / 泊り:大石
4/28	
06:05	L16-L17 / 右岸 / ♂1匹
07:05	L16-L17 / 右岸 / ♂1匹 / 合流点 / ♂1匹 ♀1匹
07:30	気温6度 / 水温3度 / 曇り / 濁り無
08:04	合流点 / ♂2匹
08:15	L17-L18 / ♂1匹
08:50	見学者3名
09:05	見学者2名
10:25	気温13度 / 水温6度 / 晴れ / 濁り無
10:30	川村IN、井手IN

10:36	合流点 / ♂2匹
10:45	L16-L17 / ♂1匹
13:05	気温14度 / 水温9度 / 晴れ / 濁り無
13:18	合流点 / ♂2匹
13:20	合流点 / ♂1匹 / 合流点の上流20m / ♂1匹
13:30	L16-L17 / ♂1匹
14:00	平田IN、大井IN
15:10	気温14度 / 水温9度 / 晴れ / 濁り無
15:22	合流点 / ♂2匹
16:00	山根IN
17:10	気温11度 / 水温8度 / 晴れ / 濁り無
17:14	右岸の水門と合流点の間 / ♂1匹 / 泊り:大石
4/29	
06:12	L16-L17 / ♂1匹
08:00	川村IN
08:05	気温7度 / 水温5度 / 小雨 / 濁り無
08:14	合流点 / ♂2匹
09:00	藤盛IN
10:00	L16-L17 / ♂1匹
11:12	気温8度 / 水温5度 / 小雨 / 濁り無
11:25	合流点 / ♂1匹 / 本流は濁り大
13:21	気温10度 / 水温6度 / 晴れ / 濁り無
14:15	見学者3名 / 見学者1名
15:20	気温10度 / 水温6度 / 晴れ / 濁り無
15:45	L3 / ♂1匹 / ♀1匹
16:10	L17-L18 / ♂1匹
16:16	L2-L3 / ♂1匹 / ♀1匹 (♂と同じ位の大きな♀)
16:30	見学者2名
16:38	L2-L3 / のペアが上流に向かう / 水量が少ないので体の上半分が水面から出てしまう
16:40	ペアはL3まで戻る
17:15	ペアはL0-L1へ移動
17:19	ペアはL1の中島の下流から左岸へ移動
17:54	ペアはL0-L1へ移動
18:04	ペアはL0へ移動
18:07	ペアは堰堤上に移動
18:14	橋と堰堤の間 / ♂1匹 / ♀は不明 / 泊り:大石
4/30	
06:11	L16-L17 / 右岸 / ♂1匹
08:00	川村IN
08:25	気温15度 / 水温5度 / 晴れ / 濁り無
08:34	合流点 / ♂3匹
08:30	L16-L17 / ♂1匹
08:50	見学者1名
08:51	足立IN
10:35	気温17度 / 水温8度 / 晴れ / 濁り無
10:30	L16-L17 / ♂1匹
10:47	合流点 / ♂1匹
10:50	見学者2名
12:00	吉岡IN / ♂4匹
13:15	気温18度 / 水温10度 / 晴れ / 濁り無

13:18	L3/左岸/♂1匹
13:43	L13/♂1匹
13:50	L9/左岸/♂1匹
14:02	L9/左岸/♂2匹
14:10	山根IN
14:30	L9-L10/♂2匹
15:00	濁り小
16:30	L8/♂2匹
16:37	L9/♂4匹
17:00	L0/右岸/♂1匹/泊り:足立、大石
5/1	
06:12	L8-L9/♂2匹
06:15	L13/右岸/♂1匹
06:21	見学者2名
08:00	川村IN
09:50	水温6度/晴れ/濁り無/L8-L9/♂1匹
09:51	L12/♂1匹
09:55	右岸の笹の下流20m/♂1匹
10:08	合流点の上流5m/♂1匹
10:10	L21/♂1匹
11:15	気温16度/水温7度/晴れ/濁り無
11:24	L19/♂1匹
13:00	L12/♂2匹
13:12	気温19度/水温8度/晴れ/濁り無
13:26	合流点の上流10m/♂1匹
13:42	L5/♂1匹
13:50	右岸の水門/♂1匹
15:00	気温20度/水温9度/晴れ/濁り中/L12-L13/♂1匹/L16/♂1匹
15:19	右岸の笹の下流20m/左岸/♂1匹
15:24	見学者1名/毎年来ている
15:35	山根IN
17:00	気温-度/水温7度/晴れ/濁り中/泊り:大石
5/2	
05:55	右岸の笹の下流10m/♂1匹
08:00	川村IN
08:05	気温13度/水温6度/晴れ/濁り小/L0/右岸/♂1匹
08:17	L18/右岸/♂1匹
08:34	L0/左岸/♂1匹
09:00	藤盛IN
10:40	釣人/自粛をお願いして了解してくれた
10:50	L17/右岸/♂1匹
11:12	気温17度/水温9度/晴れ/濁り小/L0/♂1匹
12:30	濁り大
12:31	吉岡IN、山根IN
14:30	気温23度/水温9度/晴れ/濁り大/泊り:大石
5/3	
06:08	L9-L10/左岸/♂1匹
06:10	L12-L13/右岸/♂1匹
06:14	L19/右岸/♂1匹

07:16	L0/右岸/♂1匹
07:19	L8-L9/右岸/♂1匹
08:00	川村IN
08:40	水温7度/L0/右岸/♂1匹
09:00	L0/♂1匹/L9/♂1匹/L12-L13/♂1匹
09:01	井手IN
09:02	見学者2名
10:20	気温22度/水温8度/晴れ/濁り小/L0/♂1匹/♀1匹
10:40	L8-L9/右岸/♂1匹
10:45	見学者2名
11:10	合流点の下流50mに釣人/ニジマス釣りの仕掛けで釣りをしていたので自粛をお願いした
11:30	山根IN
13:00	気温27度/水温8度/晴れ/濁り中/L0/♂2匹/バトル
14:12	気温24度/水温8度/晴れ/濁り中/L0/♂1匹/見学者2名
15:00	見学者1名
16:00	濁り大
17:00	足立IN/泊り:大石
5/4	
06:09	L0/右岸/♂1匹/♀1匹/L1/右岸/♂1匹
06:12	L6/右岸/♂1匹/L8-L9/右岸/♂1匹
06:25	L0/♂2匹/バトル/♀1匹は不明
07:23	L0/左岸/♂1匹/L0/右岸/♂1匹/♀1匹
07:23	L0/ディギング開始
08:45	水温6度/曇り/濁り小
08:30	川村IN
09:00	藤盛IN、山根IN
10:00	L0/★産卵確認/ディギングは28回/川村、山根
10:15	気温19度/水温7度/曇り/濁り小
10:16	L0/右岸/♂1匹/♀1匹/L2/♂1匹
11:30	L0/右岸/♂1匹/見学者2名
12:15	L0/♂1匹
13:15	見学者2名
14:20	気温16度/水温6度/曇り/濁り小
14:28	右岸の水門の下流10m/♂1匹
15:00	L0/右岸/♂1匹/♀1匹/ディギング動作5回/♂2匹/バトル5回
18:00	気温-度/水温6度/小雨/濁り中/泊り:大石
5/5	
06:05	L0/左岸/♂1匹/L0/右岸/♂1匹
07:30	川村IN
08:00	気温7度/水温5度/曇り/濁り小
08:10	L8-L9/♂1匹/L0/左岸/♂1匹/L0/右岸/♂1匹/L2/右岸/♂1匹
09:20	見学者2名
10:30	山根IN
10:54	気温10度/水温6度/晴れ/濁り小/L0/右岸/♂1匹
11:00	見学者1名

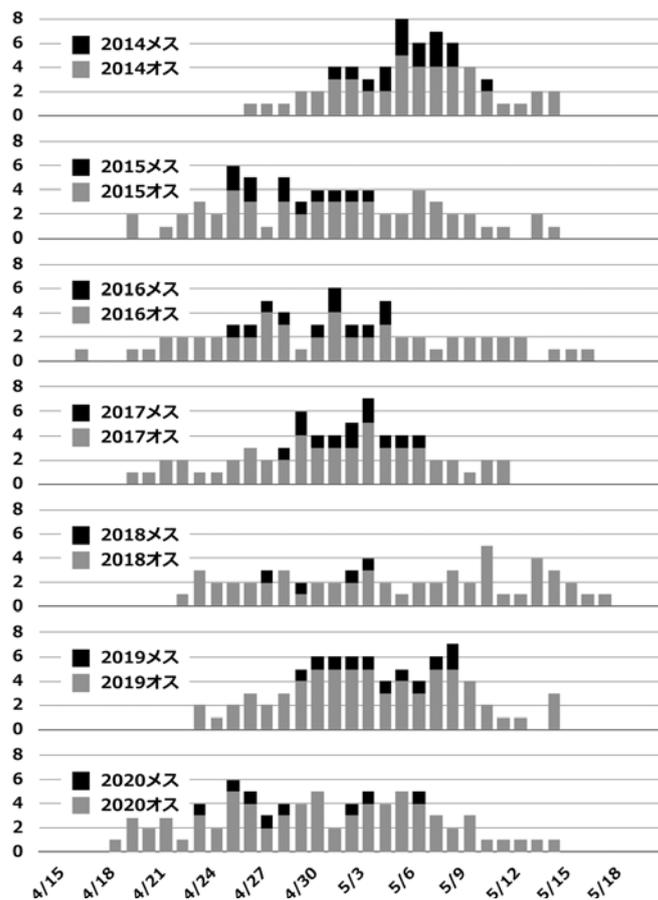
オビラメ見まもり 2020

全記録

11:15	井手IN
11:30	L8-L9/♂1匹
13:20	見学者1名
13:26	気温13度/水温7度/晴れ/濁り小/L0/右岸/♂1匹
14:05	L8-L9/右岸/♂1匹
14:06	見学者2名/初めて来た/見学者3名/毎年来ている
15:00	見学者3名/見学者2名
15:50	気温13度/水温7度/晴れ/濁り小/L0/右岸/♂1匹
16:05	L8-L9/右岸/♂1匹/泊り:大石
5/6	
05:55	L12-L13/右岸/♂1匹
07:20	L12/♂1匹/移動中
07:35	気温9度/水温5度/曇り/濁り無
09:00-12:30	有島ポンドで採卵、人工授精/吉岡、山根、川村、足立、平田、伊藤、菅原、大串、浪坂、井手、大石/1匹から2580粒/♂28匹/♀13匹/最小68cm/最大94cm
15:00	気温13度/水温6度/小雨/濁り小/L0/右岸/♂1匹
15:20	L18/右岸/♂1匹
17:15	気温9度/水温5度/小雨/濁り小/L1/右岸/♂1匹/L0/右岸/♂1匹
17:30	L20/左岸/♂1匹/L20/右岸/♂1匹
17:32	L15-L16/右岸/♂1匹
17:37	橋の下/♂1匹/泊り:大石
5/7	
05:54	L0/右岸/♂1匹(1.1m)/♀1匹(0.9m)/L0/下流5m/右岸/♂1匹(0.9m)/ディギング開始
07:13	ディギング中断(12回)
08:00	気温9度/水温5度/晴れ/濁り無/L0/右岸/♂1匹/♀1匹/ディギング開始
09:30	川村IN
09:51	L0/★産卵確認/ディギングは37回/川村
09:52	カバーリング開始
10:00	気温14度/水温7度/晴れ/濁り無
11:00	L0/♂1匹/♀1匹/L6-L7/♂1匹/L12-L13/♂1匹/L20-L21/♂1匹
11:50	見学者1名
12:10	気温14度/水温9度/晴れ/濁り無/L0/右岸/♂1匹
12:25	L20/左岸/♂1匹
12:36	L16-L17/右岸/♂1匹
12:50	L0/左岸/♂1匹

13:00	吉岡IN
14:00	山根IN
14:15	気温15度/水温9度/晴れ/濁り無
14:40	L12/右岸/♂1匹/L12-L13/左岸/♂1匹
14:50	L17-L18/右岸/♂1匹/♀1匹/09:51に産卵した♀の可能性が高い
14:51	カバーリング開始(★多分産卵した)/山根
14:57	L17-L18/♀1匹が残り、♂がいなくなる
15:24	カバーリング10回
15:45	L17-L18/♀がいなくなる
15:55	見学者2名
16:25	濁り中/泊り:大石
5/8	
06:00	山根IN
06:08	L9/右岸/♂1匹
07:10	L11-L12/♂2匹/L0/♂1匹
07:30	気温9度/水温5度/晴れ/濁り無/L0/右岸/♂1匹
07:58	L0/右岸/♂1匹
08:04	L17-L18/右岸/♂1匹
09:00	川村IN
09:10	見学者1名
09:20	見学者1名/L17-L18/♂1匹/L0/右岸/♂1匹
10:05	気温20度/水温8度/晴れ/濁り無/L0/右岸/♂1匹
10:20	合流点/♂1匹/L17-L18/♂1匹/L0/右岸/♂1匹
11:20	見学者2名
13:00	見学者1名
13:20	気温20度/水温10度/晴れ/濁り無/L0/右岸/♂1匹
13:44	合流点/♂1匹
14:02	L17-L18/右岸/♂1匹
15:00	見学者1名
15:20	見学者2名
16:10	見学者2名/気温-度/水温8度/晴れ/濁り小/L0/右岸/♂1匹/泊り:大石
5/9	
07:20	見学者2名
07:50	気温14度/水温6度/晴れ/濁り無/L0/右岸/♂1匹
08:00	合流点/♂1匹
08:19	L17-L18/右岸/♂1匹
08:30	L0/左岸/♂1匹
09:00	川村IN
09:30	気温16度/水温6度/晴れ/濁り無/L0/右岸/♂1匹
10:00	合流点の下流50mに釣り人/ニジマス釣りの仕掛けで釣りをしていたので自粛をお願いした
10:01	L9-L10/左岸/♂1匹/L0/♂1匹
10:32	見学者2名
11:00	井手IN
11:15	見学者1名
11:30	吉岡IN

15:00	気温20度/水温7度/晴れ/濁り小/L0/右岸/♂1匹
15:11	L17/♂2匹/バトル
16:30	見学者2名
16:40	見学者1名
17:05	気温15度/水温7度/晴れ/濁り小/L0/右岸/♂1匹
17:14	L17-L18/右岸/♂1匹/泊り:大石
5/10	
08:00	気温12度/水温6度/小雨/濁り無/L0/左岸/♂1匹
08:10	川村IN
10:00	L0/左岸/♂1匹/L17-L18/♂1匹
11:40	気温15度/水温6度/雨/濁り無/L0/左岸/♂1匹
12:00	右岸の水門と合流点の間/左岸/♂1匹
12:14	L17-L18/♂1匹
13:40	見学者1名
13:50	気温12度/水温7度/小雨/濁り無/L0/左岸/♂1匹
14:00	L17-L18/右岸/♂1匹
15:30	気温10度/水温7度/小雨/濁り中/L0/右岸/♂1匹
16:06	合流点/♂1匹/泊り:大石
5/11	
07:40	気温13度/水温5度/曇り/濁り小/L0/右岸/♂1匹
09:00-	有島ポンドで採卵、人工授精/吉岡、川村、平田、井手、菅原、藤盛、大石/1匹から4200粒
10:50	
13:00	気温12度/水温7度/雨/濁り大/L0/右岸/♂1匹
14:30	水温6度/小雨/濁り中/L0/右岸/♂1匹
16:00	気温12度/水温6度/雨/濁り中/泊り:大石
5/12	
05:20	大石IN 気温6度/水温5度/晴れ/濁り小
08:10	気温16度/水温6度/晴れ/濁り無
08:14	合流点/♂1匹
09:30	小雨
10:00	気温17度/水温7度/晴れ/濁り無
10:10	川村IN
10:18	合流点/♂1匹
11:50	気温20度/水温9度/晴れ/濁り小
12:00	吉岡IN
13:30	山根IN
14:00	気温20度/水温9度/晴れ/濁り小/合流点/♂1匹
16:15	水温8度/晴れ/濁り小
17:35	見学者2名/泊り:大石
5/13	
08:00	川村IN
08:20	気温15度/水温7度/晴れ/濁り無
10:10	気温16度/水温7度/合流点/♂1匹
11:30	気温16度/水温6度/晴れ/濁り無/合流点/♂1匹
12:00	大雨
14:00	気温14度/水温8度/小雨/濁り小



日ごとの確認イトウ尾数の推移(2014年~2020年)

14:08	合流点/♂1匹
16:00	気温13度/水温7度/小雨/濁り中
16:10	合流点/♂1匹/泊り:大石
5/14	
08:00	未発見
10:00	気温17度/水温7度/晴れ/濁り無
11:00	吉岡IN、井手IN
12:30	気温16度/水温10度/晴れ/濁り無
12:40	合流点/♂1匹
14:00	見学者1名
14:30	合流点/♂1匹
14:45	気温17度/水温9度/晴れ/濁り中
16:00	気温16度/水温8度/晴れ/濁り中
16:10	合流点/♂1匹
18:00	足立IN/泊り:大石
5/15	
07:30	川村IN
07:50	水温6度/晴れ/濁り無
08:30	吉岡IN、井手IN、藤森IN
08:30-	撤収作業/小看板の撤去→ハウス内に収納。両岸の杭
09:30	の撤去、ロープの撤去→ハウス内に収納。川村、吉岡、井手、藤盛、大石
5/16	
15:00	ハウス撤去→菅原組に返却。今年の見守りも無事に終了しました。ありがとうございました。

尻別川工事計画案を事前協議

当会は4月12日午後、ニセコ町民センターで北海道後志総合振興局小樽建設管理部真狩出張所と会合を持ち、2020年度の尻別川工事計画について、事前説明を受けました。前年はイトウ再導入河川（俱登山川）で「協議なしの河畔伐採」が発覚し、当会の抗議に対して、道側から謝罪と事前協議徹底の約束がありました。今回は、感染症リスク拡大の影響を受けていたにもかかわらず、実効性ある協議が実現しました。



当会と真狩出張所による会合のようす。ソーシャル・ディスタンス確保が徹底されました。

(1) イトウ自然繁殖河川「維持管理」計画

当会が2011年から「見まもり隊」活動を行なっている支流です。「土砂の堆積と川岸の植生繁茂によって治水計画どおりの流路面積を確保できない」との理由で、管理者は川底の浚渫や川岸の樹木伐採を計画しています。とはいえ「尻別川126kmのうち、唯一残った天然のイトウ繁殖地。ここがなくなったら地域は宝物を失ってしまう」（吉岡俊彦オビラメの会会長）という貴重な場所です。管理者もそれを踏まえ、計画流量確保にはこだわらず、「右岸のみ伐採、河床掘削なし」などの選択肢を用意していると説明しました。また、その伐採も皆伐ではなく「3mおきに木を残す」といった手法が提案されました。「一切工事しない」の選択肢も示されました。

出席会員からは「砂利堆積のせいで流速が増し、産卵適地が狭まっている可能性がある。浚渫地点を工夫して流速を抑えられないか」「河川敷地での耕作はもう行なわれていない。洪水流量を確保するなら、堤防を内陸に引くのがベスト」といった提案がありました。

(2) 俱登山川河川敷の雑木除去計画

当会のイトウ再導入河川です。倶知安町市街地エリアでの兩岸の伐木が提案され、当会は「この区間は繁殖地から離れており、イトウにとって特段の影響はないのでは」と意見を述べました。

(3) オロウェンシリベツ川の頭首工

当会が新たな再導入地候補に挙げている川です。産卵適地に向かう途上、古い頭首工が魚類の往来を妨げていると思しき場所があります。当会の要請に応じて真狩出張所が地元の喜茂別町に照会したところ、かつて土地改良事業で建設したものの、すでに受益農家は存在していません。ただ水利権を放棄するとすぐに頭首工撤去を求められるため、費用面からそのまま放置されてきました。当会は今秋にも人工孵化稚魚の放流を開始する計画なので、親魚回帰が始まるまで5～6年以内の撤去もしくは魚道敷設を目指し、協議を続けることになりました。

オビラメの会は、 在来魚保全のよいお手本

玉井秀樹 パタゴニア・スタッフ、オビラメの会理事

い ち企業にはできないことをオビラメの会のみな
さまは実践してくださり、在来魚の保全や生物
多様性の回復に向けて、常に新しい道を切り開
いてくださっていることに心から感謝申し上げます。

社内のスタッフもみなさまの行動力や会の実績をリスベ
クトしつつ、次はどんな成果を積み重ねられるのか、ささ
やかなサポートをさせていただきつつ、同時に注目もさせ
ていただいています。みなさまは、危機的な状態に置かれて
いるさまざまな在来魚の保全における、とてもよいお手本
でもあります。

気候の変化が近年急速に見えるようになり、生活や経済
活動に大きな影響をあたえています。つい先日は、南極の
気温が18.3℃になり、沖縄と同じ！と思いました。この
ままでは今の社会や文明が継続することはありえません。
パタゴニアは近年、ビジネスと環境活動は気候危機の問題
をあらゆるレベルで解決することに、最も力を入れています。
国内のさまざまな在来魚を守る活動においても、この
気候の変化（悪化）が最大のネックのひとつになることが
すでに見えてきており、今までにないほど非常に強い危機
感を募らせています。

直営店のある長野県白馬村は、よくニセコと比較される
ことの多いスノーリゾートですが、この冬は雪が少なくて

なかなか大変なことになっています。地元白馬村や長野県
は「気候非常事態宣言」を発し、再エネの導入など、本格
的に持続可能な社会の構築に向けて積極的に動き始めてい
ます。

イトウ保護の障害となっている問題は、私がかかわらせ
ていただくようになった2000年（もう20年前！）のこ
ろと比べると、あらたに流域開発の問題や、気候危機とい
う大きな問題が加わり、保護の道筋をさらに複雑化・深刻
化させています。

これから2030年までの10年間で、地球環境が後戻り
できなくなる転換点までの正念場、とされています。奇
しくも「オビラメ復活30年計画」で、オビラメの会が解
散すると決めたのが、同じ2030年ですね。

尻別イトウだけでなく、私たち地球人全員が大きな負の
影響を被る事態でもあり、もしかすると、オビラメの会か
ら流域の自治体に対して、気候非常事態宣言を発して本格
的に対処していただけるよう要望を出すことも必要になっ
てくるかもしれないとも、思っています。

あと残り少なくとも10年。今後ともどうぞよろしくお
願いたします。

パタゴニア日本支社がオビラメの会の活動に協賛

パタゴニア日本支社（横浜市）は2020年度、オビラメの会への協賛を決定し、14万1000円の協賛金と、同社製チェストハイ・ウェーダー14着を当会に提供くださいました。当会は協賛金を「オビラメ見まもり隊」活動の費用にあてました。

オビラメの会は **patagonia**® の協賛を受けて活動しています。

ご支援をありがとうございます

当会はこのたび、株式会社瀧澤電気工事(本社・苫小牧市)代表取締役社長の瀧澤欣也さまと、ニセコ町在住の菅原義孝さまから、多大なご寄付をちょうだいしました。尻別川のイトウになりかわって心より感謝の意を表します。尻別川イトウ個体群の復元に向けて、大切にに使わせていただきます。

ニセコ町・倶知安町広報誌がオビラメの会を紹介

有島ポンドでのイトウ採卵作業あたる当会メンバーたちの写真が、先ごろ発行された「広報ニセコ6月号(第698号)」の表紙を飾りました。また「広報くっちゃん6月号(第1097号)」には、当会の「見まもり活動」を紹介する記事が掲載されました。両町はそれぞれの公式ホームページで電子版広報誌を公開しています。「イトウは地域の宝物」。オビラメの会は、流域自治体の住民のみなさまといっしょに尻別川イトウ個体群の復元を図っていきます。



「オビラメの会」は新入会を歓迎します

当会は、会費と寄付金などで運営される非営利の市民団体です。みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。年会費は2000円です。郵便局の振り込み用紙に住所、氏名、電話番号を明記のうえ、「入会希望」と書き添えて、右のゆうちょ銀行口座にお振り込み下さい(手数料はご負担願います)。会員期間はお振り込みいただいた日から年度末(5月)までです。おおむねひと月以内にニュースレターをお届けします。

- 年会費 2000円
- ゆうちょ銀行
02720-9-11016
- 加入者名「オビラメの会」

WANTED

標識オビラメ見つけたら
 ☎ 090-8279-8605
 オビラメ事務局マデ

オビラメの会ニュースレター 第52号(2020年6月発行) OBIRAME Newsletter No.52 June 2020

- 発行 ■ 尻別川の未来を考えるオビラメの会
会長/吉岡俊彦 事務局長/川村洋司
- 編集 ■ 平田剛士
- 印刷 ■ (株)須田製版(北海道滝川市栄町3-5-16)
- 口座 ■ ゆうちょ銀行 02720-9-11016 オビラメの会
- 事務局 ■ 北海道虻田郡ニセコ町ニセコ315-198(川村方)
〒048-1511 TEL 090-8279-8605
<http://obirame.sakura.ne.jp/index.html>
©2001-2020 Obirame Restoration Group

水と空気、みどりの大自然
 ニセコが好きだ
 楽しんだあとは川を語ろう

まぐる屋十割

ニセコ町富士見 65 TEL/FAX 0136-44-2472
 Email / itou110@sa2.gyao.ne.jp